

Problem solution of privacy is TRUSTe.

プライバシー問題の解決策はTRUSTe



オンラインビジネスでユーザーの不安を解決

- 【名称】 TRUSTeシールプログラム
- 【内容】 オンライン取引における国際的信用と信頼の創造を目的として、個人情報保護をTRUSTeのガイドラインに準拠したwebサイトに認証を与える
- 【成立】 1997年より米国でスタート
- 【団体】 TRUSTe 日本では、代表機関として日本技術者連盟
- 【認証】 個人情報保護体制を審査する。(JISQ15001も対応を推奨)1年で更新。
- 【特徴】 プライバシーシールなので、ガイドラインに完全に準拠した個人情報保護体制が必要
- 【コスト】 200－240万円 (売上によりことなる。)
- 【メリット】
 - 海外との取引がある場合は、オンラインでの知名度は非常に高いので有利。
 - Webサイトでビジネスを展開している企業・カンパニー制の事業部向き
 - 個人情報保護体制ができるので、モラルUPに繋がる
 - 裁判外紛争解決機能がある
- 【問題】 webサイトがなければ取得はできない。
自己管理が求められる為、個人情報保護の理解をしてリスクに応じた体制を考える必要がある。